

「憧れ」を手がかりに、他者の身体を想像するダンス作品

内田結花『リスペクトピープル z』上演

【日程】2027 年 1 月 22 日（金）、23 日（土） 【会場】京都芸術センター

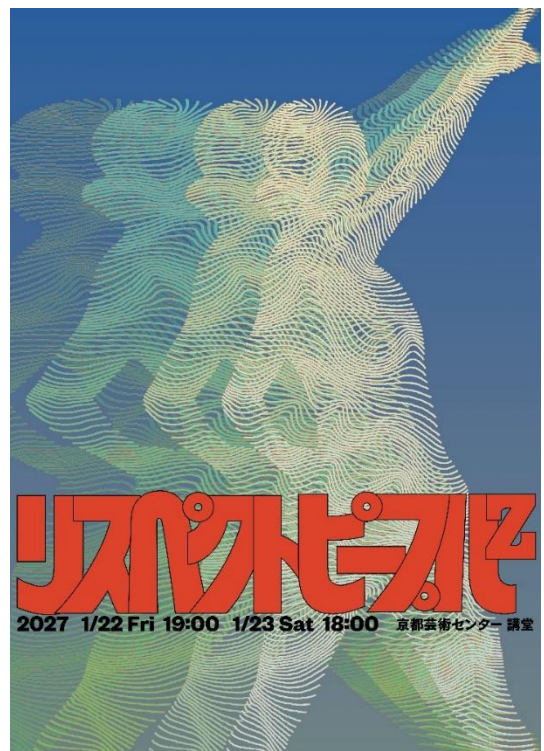
京都芸術センター（京都市中京区）は、Co-program 2026 採択企画として、振付家・ダンサーの内田結花による新作ダンス公演『リスペクトピープル z』を 2027 年 1 月 22 日（金）・23 日（土）に上演します。本作は、2020 年より内田が展開してきたソロダンスシリーズ『リスペクトピープル』を、ダンサーや俳優など他の表現者と手を組み、新たな作品へと発展させる試みです。誰かや何かへの憧れを出発点に、他者の身体感覚を想像し、自らの身体を動かしてみる。その過程から生まれるダンスを通して、身体から身体へと手渡されるものを探ります。

人が集う場の「振付」を取り込み、協働を通してダンスの新たな可能性をひらく

Co-program（コープログラム）は、京都芸術センターがアーティストや芸術団体と対等なパートナーとして企画を育て、実現する共同事業プログラムです。Co-program 2026 採択企画として上演される内田結花『リスペクトピープル z』は、内田が 2020 年より継続してきたソロダンスシリーズ『リスペクトピープル』での実践を、複数の出演者による表現へと発展させる新作です。

本作では、憧れや尊敬という他者に抱く感情を出発点に、「他者の身体感覚を想像すること」を手がかりとします。「トレース」「コラージュ」「リミックス」をキーワードに、ダンサーの身体を「多数の他者が通り抜けるフィルター」として扱い、単なる模倣ではなく、想像や誤解、変換を重ねながら、身体を通して新たな動きを生み出していきます。

また、本作では儀礼やパーティーなど、人が集う場で生まれる振る舞いにも着目します。誰がどのように動き、どんなふうに人と関わるのか。その場にいる人々が共有している社会的な所作を「すでにわたしたちの身体に内在する振付」として捉え、ダンサーや俳優とともに上演の構造や空間へと取り込みながら、ダンスが生まれる状況そのものを作品として立ち上げます。誰かや何かを心を動かされ、その身体を想像して自身の身体を動かしてみる。その過程を通して、身体から身体へと手渡されていくものは何なのかを軽やかに問いかけます。



『リスペクトピープル z』の創作を進める一環として、内田がナビゲーターを務めるダンス経験不問のオープン・ワークショップ『ダンシング・サタデー』を2026年5月から9月にかけて計5回開催しました。京都芸術センターでのワークショップやクリエイションを通して生まれた新たな出会いや関係性も取り込みながら、『リスペクトピープル z』は2027年1月の公演へと向かいます。



出演者（左から：内田結花©Junpei Iwamoto、今村達紀©前谷開、植田円、大石英史©manami tanaka）



2024 年『リスペクトピープル』記録映像よりキャプチャ（撮影：奥田ケン）

会場：UrBANGUILD Kyoto 主催：AccorDance

概要

タイトル： Co-program2026 内田結花『リスペクトピープル z』

日 時： 2027 年 1 月 22 日（金）19:00 開演（18:45 開場）

2027 年 1 月 23 日（土）18:00 開演（17:45 開場）

※上演時間未定

会 場： 京都芸術センター 講堂（南館 2 階）

料 金： 前売：一般 2,500 円、★割引（学生・障害者 *介助者は 1 名無料・65 歳以上） 2,000 円

※小学生以下無料

※当日券は各 500 円増し

★割引チケットをご購入の方は、公演当日、受付にて各種証明書（学生証・障害者手帳・年齢の分かる身分証明書）をご提示ください。

主 催： 内田結花、京都芸術センター（公益財団法人京都市芸術文化協会）京都芸術センター Co-program2026 カテゴリーA 採択事業

WEB ページ： <https://www.kac.or.jp/events/20270122/>

Co-program（コープログラム）について

Co-program（コープログラム）は、京都芸術センターが 2017 年度から実施する共同事業プログラムです。伝統芸能から現代美術まで、多様な芸術分野が交わることで生まれる新たな表現や価値の創造を目指し、アーティストや芸術団体と京都芸術センターが対等なパートナーとして企画を育て、実現しています。本プログラムでは、採択された企画に対して資金や会場を提供するだけでなく、企画立案から制作、広報、発表までを京都芸術センターと申請者が共同で進めます。公演を対象とする「共同制作」、展覧会を対象とする「共同開催」、リサーチやレクチャー、ワークショップなどを対象とする「共同実験」の 3 つのカテゴリーを設け、挑戦的な芸術活動を継続的に支えています。

2017 年度の開始以来、演劇、ダンス、音楽、美術、伝統芸能など幅広い分野で約 70 件のプロジェクトを採択。やなぎみわ、ホンマタカシ×コンタクトゴンゾ、岡崎藝術座、スペースノットブランク、額田大志×山下恵実をはじめ、新たな表現に挑戦するアーティストとの協働を重ね、京都から国内外へ向けた創造的な活動を発信しています。

WEB ページ： <https://www.kac.or.jp/program/34630/>

プロフィール

内田結花

上演環境や状況に振り付けられる身体とそこから立ち上がる踊りに注目しダンスを創作。主な作品に、日記を基にした振付を屋内外のあらゆる状況で展開する作品集『暮らしのシリーズ』、「鳩の観察」を出発点に創作を試みる『ニュー・フィールドワーク』、障害のある人もない人もともに活動するダンスカン

パニーMi-Mi-Bi『島ノ舞』(プロデュース：NPO 法人 DANCE BOX) など。多様な文化的・専門的背景をもつ人々との出会いと協働を通じて創作の領域を広げている。2020 年より憧れや尊敬する他者を想像力と妄想力(誤解を含む)によって取り込み踊る『リスペクトピープル』を展開。本作ではその試みを複数人によってz編へと広げる。

クレジット

演出：内田結花

振付・出演：今村達紀、植田円、内田結花、大石英史

総合アシスタント：三ヶ尻敬悟

舞台監督：米村優人

照明デザイン：三浦あさ子

音響：植松幸太

美術：dot architects

制作：西田祥子、雪岡純、青田亜香里(京都芸術センター)

テクニカルコーディネート：十河陽平(京都芸術センター)

チラシデザイン：三重野龍

協力：NPO 法人 DANCE BOX、千日前青空ダンス倶楽部、辺口芳典

助成：アーツサポート関西

京都芸術センター

京都芸術センターは、芸術文化の振興を目的に 2000 年 4 月に開設されました。若い世代を含む多様な芸術家の制作支援を軸に、芸術文化に関する情報発信や、芸術家と市民の交流促進に取り組んでいます。芸術家が創作活動を行い、その成果を発表するための制作室の提供をはじめ、展覧会、演劇、ダンス、音楽、伝統芸能などの公演やワークショップを実施。芸術家の発掘・育成や伝統芸能の継承、国内外の芸術家を受け入れるアーティスト・イン・レジデンス事業にも力を注いでいます。これらの活動を通じ、京都における都市文化創造の拠点として、芸術の新たな価値を社会に開く場づくりを進めています。



京都芸術センター外観 ©高野友実

<本件に関するメディアからのお問い合わせ先>

京都芸術センター(公益財団法人京都市芸術文化協会) TEL : 075-213-1000、E-mail : pr@kac.or.jp、担当 : 福島